

## 産業建設委員会

### 審査のポイント

#### (議案第46号) 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

(問) 単身赴任手当と管理職員特別勤務手当の目的について。

(答) 今回新たに追加される単身赴任手当とは、人事交流などにより、遠方の事業所勤務となった場合に、配偶者と別居の生活になり二重生活とならざるを得ない職員の経済負担を軽減することを目的としている。管理職員の特別勤務手当については、災害対処などで、週休日等以外の午前0時から5時までの勤務に対し、手当を支給する事を目的としている。

## 予算決算委員会

### 総務分科会

#### 審査のポイント

#### (議案第35号) 平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

(問) 防災施設整備事業費について、鈴峰・平田野・神戸・天栄・白子・千代崎の6中学校を、基幹避難所として防災井戸や備蓄倉庫などを整備するとのことだが、残りの4中学校については今後どのように考えているのか。

(答) 残りの4中学校については、現在未定ではあるが、市の所管課である防災危機管理課としては、平成28年度以降に総合計画に位置付け、取り組みたいと考えている。

### 文教環境分科会

#### 審査のポイント

#### (議案第35号) 平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

(問) 市民会館改修後は、座席数は変更するのか。座席の幅を広げるなど検討はするのか。

(答) 現在、固定席が1,278席、車いす席が7席の計1,285席あるが、今回、消防法上通路の幅を広げることにより、62席減り、車いすの7席を含めて、総数は1,223席になる。今回の改修は、公共施設マネジメント白書に沿って、施設の長寿命化を図るものである。椅子は全て新調するが、座席の幅を広げるとなると、座席数をさらに減らすことになり、また、物理的にも制約があるので現状のままとする。

(問) 鈴鹿市民会館内の展示室を利用する方の利便性を含めて、市民会館の整備をどのように考えているのか。また、改修工事の日程について。

(答) 展示室用のエレベーターの設置および男女共用となっているトイレを多目的トイレとする整備を考えている。また、段差も解消するようにバリアフリー化を考えている。工事は平成29年2月からを予定しており、平成29年中に工事を終えたいと考えている。

### 生活福祉分科会

#### 審査のポイント

#### (議案第35号) 平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

(問) 牧田コミュニティセンター多目的ホール空調機改修工事の完了はいつになるのか。予備費を使用する判断基準はどうなっているのか。

(答) お盆過ぎから8月末まではかかると想定している。ホールの使用は差し止めてはいないが、空調機が故障していることを了承の上で予約してもらっている。改修工事の完了までは、冷風機1台と大型扇風機2台、小型の扇風機などで対応していきたいと考えている。改修工事が8月末までかかると想定される中で財政当局と協議したところ、ゴミ処理場の修繕など緊急事態の場合には予備費を使用できるものの、この施設以外の利用で対応することも考えられ、予備費を使って先に修繕を行うという結論には至らなかった。

### 産業建設分科会

#### 審査のポイント

#### (議案第35号) 平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

(問) スマートインター周辺の開発について、どのように行っていくのか。

(答) スマートインター周辺の開発において、今後地目の変更、開発の許可を取りつける必要がある。そのためには、農地法で定まっている制限を取り除く事が必要となる。また、高速道路パーキングエリア周辺やスマートインター周辺の開発を手掛けている企業の知識やノウハウを活用して検討を行い、周辺地域の土地の利活用を図っていく。